

大門昌平

私はコロンビアのバジェ県にあるカリという町で1年間留学をしていました。カリ市は比較的に標高の高い所に位置しており、日差しは強いものの日本の夏ほど熱くなく、湿度も高くないので快適に過ごすことが出来ました。カリ市はサルサがとても有名です。街を歩いているとよくサルサが聞こえてきます。そして毎週金曜日の夜にはサルサの大きいパーティーがあり、私もよく行っていました。私自身サルサは下手だったのでいつも笑われていましたが、とても楽しかったです。

私の感覚ですがコロンビアではとてもゆったりと時間が流れていると感じます。留学後、日本に帰ると日本人は歩くのが早いなと感じました。日本ではコロンビアは危ない国といわれることが多いですが、カリ市の中で怖い経験は一度もなかったのも、場所にもよりますが皆さんが思っているほど危険な国ではありません。コロンビア人はとてもフレンドリーで友達を作るのは困らなかったです。私が外国人であることとは関係なく、困っていたらみんなで助け合うという人が多い印象です。また周りにとらわれず自分の容姿や性別などを自由に表現する文化が強く、とても生き心地が良かったです。

留学先の大学はバジェ大学といいます。大学は私が住んでいた県で一番大きい大学でした。広大な敷地に多くの自然があり、イグアナや亀、数多くの野鳥、そして私は見れませんが何匹かの猿の家族が住み着いていると聞きました。大学内でも毎週金曜日に食堂の下でパーティーが開かれ学生たちが踊っています。みんなでお酒を飲んで話してとても楽しいです。そしてスポーツの施設もとても充実しており私はよく利用していました。コロンビアには外に出てスポーツをするという人が多く、大学の中でよくバレーボールをしていました。敷地内には大量にマンゴーの木があるので、よくみんなでマンゴーを拾って食べていました。

授業に関しては正直1年間ほとんど理解できなかったです。バジェ大学には留学生用のクラスが無く、現地の生徒と同じものを受講していました。しかもバジェ大学は公立大学で授業のレベルも高く、1コマが3時間と天理大学の倍の時間があります。何も分からない授業を3時間耐えるのは疲れますが慣れたら大丈夫です。あと日本よりも生徒参加型の授業なので、みんなの前で発表する機会も多く、たくさん質問してくるので、寝ている暇などありません。当然コロンビア人と同じテストでは歯が立たないので、先生に私のレベルにあったテストを出してほしいと頼んだり、クラスメイトや友達に助けてもらい何とか授業にしがみついていた。そうしているといつの間にかスペイン語も話せるようになっていました。

バジェ大学には寮が無かったので、アパートを借りて一人暮らしをしていました。コロンビアは年中暖かいので一般の家庭にはお湯が無いです。当然私の家にもなかったのも水シャワーでしたが、1ヶ月もたつと慣れ、帰る頃には水じゃないと物足りないという体になっていました。私は水道水を飲んで生活していたので、おすすめはしませんが日本人でもカリ

市の水は飲めます。

普段は朝起きてから、朝ごはんを食べ学校に行くまでの間に前日に聞いた知らない単語を片っ端から覚え、学校に行って授業を受け、そこで初めて聞く分からなかった単語をメモして復習するという生活でした。最初の方は毎日のように友達が遊びに誘ってくれました。私は誘いを断らないと決めていたので毎日どこかに行っていました。本当に楽しかったです。

週末は近所の公園でよく lulo という果物のジュースを飲んでいました。私が行くお店は決まっていたので、行けばいつもの物を作ってくれるようになりました。そして友達が川や山に誘ってくれることが多く、コロンビアのジャングルの中をハイキングしたり、滝に行ったり、崖の上から川に飛び込んだりしてよく遊んでいました。

そして近くに天理教の教会があり、たまにイベントの手伝いをしていました。他にも日本のイベントの手伝いに行く機会が多く、町の中心街を浴衣で歩いていると、多くの人に囲まれ写真撮影会が始まるなど、芸能人気分になれることもありました。日本では絶対に経験できない事なので面白かったです。

今回の留学では、私が目標としていたことはすべて達成し、できる限りのことはすべてして、遊びも勉強も全力で楽しみました。もう何もやり残したことはありません。

そしてこの留学を終えて、私はとても度胸がついたと感じています。コロンビアに着いたすぐの頃はほとんど話すことが出来なかったのが笑顔とノリで友達を作り、抗議活動で夜に道路が閉鎖されアジア人一人で夜の治安の悪い地区を歩かないといけなかったり、震災が起こりトイレの壁が崩れ、電気もインターネット無い状態で頑張って非難するなど、他にも様々な問題が起こりましたが、それらの経験が私を強くしました。正直このままコロンビアに住みたいくらいでしたが、卒業しないといけないので不本意ながら帰ってきました。

これから留学する人へのアドバイスは、留学前にめちゃくちゃ頑張って言語の勉強をしておくことと、一番大切なのは笑顔を忘れず楽しむことです。笑顔は世界の共通言語といわれることがあります。それは本当です。とにかく心から留学生活を楽しんでください。